

第6学年 外国語科学習指導案

日 時 令和3年11月18日(木) 公開授業①

児 童 6年2組 男9名 女11名 計20名

指導者 柴崎 雅人

授業構想の視点 HRTのみによる指導の在り方

1 単元名 Unit 7 My Best Memory (Here We Go! 6)

2 単元について

(1) 児童観

本学級の児童はこれまでに、色、食べ物、数、アルファベット、誕生日を伝え合う表現など身近な題材を用いた外国語表現に慣れ親しんできた。また第4学年では、校内学習発表会にて英語での劇を行うなど外国語の学びを生かした学習の経験もある。

これまでの活動を通して、やり取りを続けようという姿勢が身に付いてきている。相手に英語でどう伝えればよいか分からない場合でも、学習してきた単語や、身振り手振りを交えながらなんとかして相手に伝えようという態度も育ってきている。また、ペアなどでのコミュニケーションの時に、お互いに相手が何を伝えようとしているか意図を汲み取ろうという姿もよく見られるようになってきた。その結果、困っている友達に表現のヒントを出したり、相手が答えやすい質問をしたりする児童が増えてきている。

(2) 教材観

本単元は、6年間の小学校生活を振り返り、思い出に残る学校行事を伝え合うことをねらいとしている。それぞれの行事で取り組んだことやその時の思いなどを振り返り伝え合うことで、小学校生活を共に過ごしてきた仲間の大切さを再認識したり、これまでの自分の成長を実感したりできる。

また伝え合う活動の中では、これまでの思い出を伝えるために過去形を使うことが自然である。今まで学習してきた表現を使ってどのように思いを伝えたらよいか考えたり、伝え方を工夫したりすることで子どもたちが意欲的にコミュニケーションに取り組むことを期待する。

(3) 指導観

本単元のゴールとして「小学校生活6年間の思い出DVDを作ろう～サプライズ大作戦～」を設定した。児童は少しずつ卒業を意識する時期にいる。その時期に自分の小学校生活を振り返り学んだこと、取り組んだこと、感じたこと等いろいろな思いを大切に思い出しとして残してほしいという願いを込めてゴールを設定した。また、その思い出を自分のものとして残しておくだけでなく、相手に伝えることで大切な思い出を共有したり、自分自身の大きな成長も実感したりしてほしい。また、昨今のウイルス感染拡大により大きな行事や大切な思い出を家族と共有できる機会が少なくなった。そこで、小学校生活6年間の思い出を紹介したDVDを自分たちで作成し卒業式の保護者控室で映像を流したい。児童は、自分たちの思いを形にしてサプライズで伝えるというゴールに向かって意欲的に取り組むと考える。

本単元は、一人一人が自分の思い出を英語で伝えることができるようになることを目標として

学習を進める。そのために二つの活動を単元の中で繰り返し取り入れながら授業を進める。一つ目として、必要な表現や語彙を毎時間繰り返し練習することで定着を図っていく。導入時に本時の表現ややり取りに関する活動をフラッシュカードや BINGO などのゲームを用いながら繰り返し行うことで取り組みやすい活動のなかで定着を図る。二つ目として、やり取りをタブレットで記録することで確認し合う機会をもてるようにする。やり取りをタブレットで記録し、次時の活動に入る前に前時までの学習を確認することで、本時の目標を明確にもてるようにしたり、前回のやり取りよりも話せるようになったという達成感を味わわせたりする。以上の活動を取り入れることで、表現や語彙に対し児童が話せたという達成感を抱きながら、思い出を伝えることができるようになると考える。

3 単元の目標

- ・家族に小学校生活の思い出を伝える DVD を作成することを通して、今まで学習してきた表現を使って自分の思いを伝え合うことができる。
- ・家族に小学校生活の思い出を伝える DVD を作成することを通して、今まで学習してきた表現を使って自分の思いを話すことができる。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

| 領域 | 学習指導要領における領域別目標 |
|-------------|--|
| 話すこと [やり取り] | ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。 |
| 話すこと [発表] | ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 |

5 評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------------|--|---|--|
| 話すこと [やり取り] | <p><知識> 学校行事を表す語彙や、My best memory is ~ / What's your best memory? / I went to (ate / saw / enjoyed / played / sang) の表現について理解している。</p> <p><技能> 自分の小学校生活の一番の思い出について学校行事を表す語彙や、My best memory is ~ / What's your best memory? / I went to (ate / saw / enjoyed / played / sang) の表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p> | 自分の小学校生活の一番の思い出を伝えるために、既習表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。 | 自分の小学校生活の一番の思い出を伝えるために、既習表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 |

| | | | |
|----------------------|---|---|---|
| <p>話すこと 「発表」</p> | <p><知識> 学校行事を表す語彙や, My best memory is ~ / What's your best memory? / I went to (ate/ saw/ enjoyed/ played/ sang)の表現について理解している。</p> <p><技能> 自分の小学校生活の一番の思い出について学校行事を表す語彙や, My best memory is ~ / What's your best memory? / I went to (ate/ saw/ enjoyed/ played/ sang)の表現を用いて, 考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p> | <p>自分の小学校生活の一番の思い出を伝えるために, 既習表現を用いて, 自分の考えや気持ちなどを話している。</p> | <p>自分の小学校生活の一番の思い出を伝えるために, 既習表現を用いて, 考えや気持ちなどを話そうとしている。</p> |
|----------------------|---|---|---|

6 単元指導計画（全8時間）

単元のゴール

小学校生活6年間の思い出DVDを作ろう
～サプライズ大作戦～

話すこと [やり取り] で評価

話すこと [発表] で評価

第8時 ◎小学校生活6年間の思い出DVDを作る。

・撮影を行う。

〔手立て3〕本Unitでの自分の成長を実感するために、学習してきたことを動画等を用いて振り返ることができるようにする。

【思・判・表】思い出の行事について、相手に伝わるように、自分の考えや気持ちを話している。

【態度】思い出の行事について、相手に伝わるように、自分の考えや気持ちを話そうとしている。

第7時 ◎小学校生活6年間の思い出DVDを作る。

・どのように伝えるかを考える。

〔手立て1〕伝えたいことを明確にするために、どのように話せば相手により自分の思いが伝わるか考える場を設定する。

第6時 ◎ALTに小学校生活の一番の思い出を伝える。

・学習を活かして、小学校生活の一番の思い出に関するやり取りを行う。

〔手立て2〕学習した表現を使って即興的なやり取りをする力をつけるために、ALTとのやり取りを行う。

【思・判・表】思い出の行事について、ALTの質問を聞き取り、自分の考えを伝えることができている。

【態度】思い出の行事について、ALTの質問を聞き取る、自分の考えを伝えようとしている。

第5時 ◎グループで小学校生活の一番の思い出を伝え合う。

・学習してきた表現を使ってやり取りを行う。

・やり取りをビデオに収める。(タブレット活用)

表現: My best memory is~/ What's your best memory?/I went to (ate/ saw/ enjoyed/ played /sang). What did you do?

語彙: 行事, 思い出

〔手立て3〕本Unitでの自分の成長を実感するために、活動の様子を動画や写真で振り返ることができるようにする。

【知・技】思い出の行事について、学習した表現を使って、出来事や感想についてたずね合う技能を身に付けている。

第4時 ◎行事で行った場所やしたことなどを伝え合う。

・習った表現を使ってやり取りを行う。

表現: My best memory is~/ What's your best memory?/I went to (ate/saw/enjoyed/played/sang). What did you do?

語彙: 行事, 思い出

〔手立て2〕使える既習事項を確認する時間をとることで、2往復以上のやり取りや相手へのレスポンスが自然と行われるようにする。

第3時 (本時) ◎行事で言った場所やしたことなどを伝える表現を知る。

・行事で行った場所やしたことなどを伝える表現を知る。

表現: My best memory is~/ What's your best memory? I went to (ate/ saw/ enjoyed/ played/ sang). What did you do?

語彙: 行事, 思い出

〔手立て2〕行事でしたことを伝えるために使える表現を確認することで、自信をもってやり取りに臨むことができるようにする。

第2時 ◎思い出に残る行事を伝え合う。

・思い出に残る行事を伝える表現を知る。

・思い出に残る行事をたずねる表現を知る。

表現: My best memory is~/ What's your best memory? 語彙: 行事

〔手立て2〕「言えた」と実感できるようにするために、フラッシュカードなど繰り返し発音する場を設定する。

第1時 ◎ゴールを確認し、学校行事の言い方に親しむ。

・「小学校生活6年間の思い出DVDを作る」という単元のゴールを確認する。(小学校生活の写真・在校生DVD等)

・思い出DVDを作るために必要な表現や単語を知る。

表現: My best memory is~. 語彙: 行事

〔手立て1〕活動への意欲を高めるために、小学校生活の写真等を提示することで、ゴールのイメージをもつことができるようにする。

本Unitで身に付けさせたい、高めたい力

これまで学習したことから、使える表現を選び、やり取りを行う力

7 授業構想の視点

【HRTのみによる指導の在り方】

- ・毎時間の導入時に、単元に関わる表現や語彙を使ったフラッシュカードや BINGO などの活動を繰り返し行い、表現の定着を図る。
- ・やり取りをタブレットで撮影し、記録したものを確認することで児童自身が自分の活動を振り返り、達成感を味わったりこの表現を話すようになりたいという意欲を高めたりする。

8 本時の指導

(1) 目標

行事で行った場所やしたことなどを伝える表現を知る。

(2) 指導にあたって

[手立て2]・行事でしたことを伝えるために使える表現を確認することで、自信をもってやり取りに臨むことができるようにする。

[手立て3]・タブレットで撮影したやり取りを見ながら振り返りを行うことで、本時の学習の成果を客観的に捉えることができるようにする。

(3) 展開 (3 / 8 時間)

| 段階 | 児童の活動 | 教師の働きかけ | 準備物 |
|--|---|---|---|
| 導入 10分 | 1 Greeting ・全体で挨拶をする。 2 Review ・カードの単語を発音する。 3 Game ○BINGO ・思い出の行事を友達と聞き合い、相手が答えた行事がカードにあったら○をする。 | ・既習事項を繰り返し扱うことで定着を図る。 ・本単元で使用する単語を復習する。 ・表現を練習してから活動に入ること、どの児童も抵抗感なくやり取りができるようにする。 ・BINGO で用いた表現だけでは、思い出の行事について詳しく知ることができないことに気付かせ、表現を増やす必要性をもてるようにする。 | ・フラッシュカード ・BINGO カード |
| Unit goal 小学校生活6年間の思い出DVDを作ろう ～サプライズ大作戦～ | | | |
| Today's goal 思い出についてくわしく伝える言い方を知ろう | | | |
| 展開 25分 | 4 Activity 1 ○カードマッチング ・行事でしたことを伝える言い方を確認する。 ・行事でしたことを伝える言い方がどの行事に当てはまるか選択する。 5 Activity 2 ○思い出トーク ・行事でしたことを伝える言い方を使ってやり取りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> A: What's your best memory? B: My best memory is school trip. A: What did you do? B: I went to Morioka. What's your best memory? A: My best memory is music festival. B: What did you do? A: I sang songs. </div> 6 Check ・やり取りをタブレットで撮り合う。 | ・行事でしたことを伝えるために使える表現を確認することで、自信をもってやり取りに臨むことができるようにする。 [手立て2] ・初めに、HRT が児童に質問を投げかけることで、質問のしかたの理解を深めたり答え方を確認したりする。 ・Activity での学習重点項目を確認する。 ((D) (A) (I) T O) ・やり取りを記録しておくことで、本時までの力を把握するとともに、次時の目標を明確にすることができるようにする。 | ・イベントカード ・したことリスト ・児童用タブレット |

| | | | |
|-----------|--|---|------------------|
| 終末 10分 | 7 Reflection ・本時の活動の振り返りを Here We Go! シートに記入する。 | ・タブレットで撮影したやり取りを見ながら振り返りを行うことで、本時の学習を客観的に振り返ることができるようにする。 〔手立て3〕 | ・Here We GO! シート |
| | 友達と行事での思い出について、見たことや楽しかったことなどを質問し合うことができた。次は、そのときどう思ったか感想などもやり取りの中で聞いてみたい。 | | |
| | 8 Closing ・次時の目標を確認する。 | | |